

猛暑は続いていますが、今年は比較的穏やかな天候が続いていますね。日中は温度が高くなりますが、夜になればかなり涼しくなります。高温障害もおおむね心配はいらぬのではないのでしょうか。郷蔵米はまだですが、慣行栽培では稲穂も色が変わりはじめていて、今月中には稲刈りも始まります。天候が良かったので、今年は量も味も期待が出来るそうです。（ひ



田んぼの参——

先日、コンバインの整備を行うため、農機具倉庫に足を運びました。おおよそ八月末から十月のはじめにかけて、慣行栽培を含めた佐見地区内の稲刈りが行われるためです。

もうそんな時期かとの時には感慨深くも思うわけですが、それもほんのわずかなこと。

とくに稲刈りというのは、スケジュールが天気に左右されるので、他の仕事や、作業を予定としてしっかり入れておくことが難しいからです。

そのうえ、刈り時期というのは、絶対に逃してはならないものです。

というのも、刈るのが早すぎてしまうと、青いお米が多く入ってしまううえ、遅すぎれば胴割れといって、お米にひびが入ってしまうことにもなるからです。

ゆえにこの時期の生産者は、刈り取り時期には非常に神経を使います。

しかし、稲刈りは、これまで管理してきた田んぼの成果が目に見える形で出てくる一大作業でもあるので、嬉しい時期でもあります。田んぼの稲を刈り取り終わると、ようやくホッと息をついて笑顔が出る。そんな姿が田んぼのそこで見られます。

もちろんここに、豊作だったという事実が加われば、さらに笑顔になることは間違いないでしょうが、その判断はもう少し先にしかできないでしょう。

慣行栽培の稲を見る分には、ずいぶんと穂も重くなり、頭を垂れてきているので、期待はできそうです。郷蔵米の稲は田植えの時期が遅いので、それらにくらべると穂が出るのも遅く、収穫を左右するのはこれからの天候になるだろうと思いますが、楽しみなのは間違いないです。

ちなみに聞いたところによると、ネガティブな要素はいまのところほんの一部で葉イモチ病が見られることです。

まだまだ油断はできませんが、豊作を願って各生産者、収穫するのを首を長くして待っています。

稲刈りのお知らせ——

稲刈り鎌は持ったか！？ 今年もサワッと刈るぞ！！ 郷蔵米！！

というわけで、稲刈りのお知らせです！！

日 時:9月24日(土) AM10:00～ (雨天延期 延期の場合は25日)

場 所:下佐見 成山地区 長谷川泰幸さん 田 (田植え、草取りをした田んぼです)

会 費:大人(中学生以上) 600円 小人400円

持ち物:軍手 長靴 稲刈り鎌 暑さ対策(帽子、タオル、水筒など)



昼食は、郷蔵米でつくったおにぎりを、たーくさん用意しております。

まだまだ暑い季節ですので、熱中症や日射病には十分に注意して、上記の持ち物にかかわらず必要なものを持参するようにしてください。水分はもちろんのこと、虫除け、虫さされ等の薬もあるといいかもしれません。

* 集合は結びの家です。例年どおり前日からの宿泊も可能ですので、詳しくは各会にお問い合わせ下さい。